

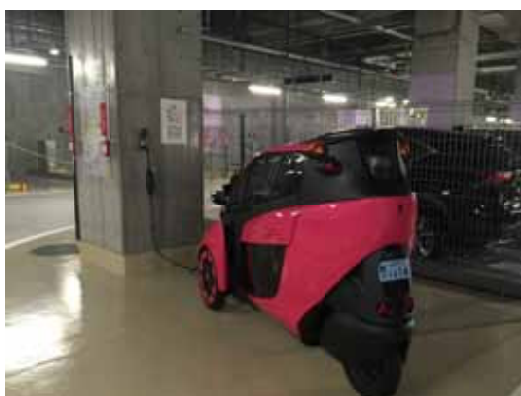
報道関係各位

2015年5月7日

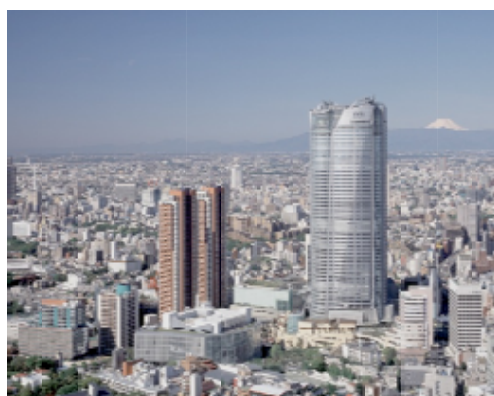
森ビル株式会社

ヒルズを舞台に、未来の都市のあるべき姿を考える
TOYOTA i-ROAD の「OPEN ROAD PROJECT」に協力
～7月から六本木ヒルズ、虎ノ門ヒルズ、アークヒルズで実施～

森ビル株式会社は、この度、トヨタ自動車株式会社が、人にも街にも社会にも優しい移動の実現を目指し開発したパーソナルモビリティ「TOYOTA i-ROAD」の本格的な実用化に向け、7月より実施する「OPEN ROAD PROJECT」に、六本木ヒルズ、虎ノ門ヒルズ、アークヒルズにおいて協力するはこびとなりました。これは、都市づくりを手掛ける当社が、都市のあるべき姿を考え、イノベーションを生み出していく未来の都市づくりへの挑戦の一環として取り組むものです。



i-ROAD 専用駐車スペース(イメージ)



六本木ヒルズ

近距離用途での使用を想定する「TOYOTA i-ROAD」は、最も手軽で快適な移動手段となり得るものであり、軽やかな外観も含めて、今後の都市に求められる多様性を実現するものです。このi-ROADのオープンイノベーション・プロジェクト「OPEN ROAD PROJECT」において、当社では、六本木ヒルズ、虎ノ門ヒルズ、アークヒルズの敷地内に、i-ROAD専用の駐車スペースを新設。i-ROADの小型性を活かし、一般的な自動車では駐車が出来ない空きスペースを有効活用します。また、駐車スペースには電源(一般家庭用100v)を設置し、i-ROADが目指す充電ストレスの軽減をサポートします。

「OPEN ROAD PROJECT」の詳細は、次頁以降を参照ください

テクノロジーの進化によって、社会が大きな変革を迎え、人々の働き方や暮らし方、ライフスタイルも大きく変化していく現代において、当社では「未来を見据えた都市のあり方」に向けて、どのような先端技術やソフトが都市に組み込めるのかを検討しています。

「都市の中の都市」であるヒルズは、リアルな実験の場としても最適な都市空間を擁しています。当社では、この度のi-ROADのような「未来の都市に向けた新しい取り組みや技術」に対し、ヒルズをプラットフォームとして積極的に開放することで、ヒルズを起点にイノベーションを生み出していく「未来の都市づくり」を推進してまいります。

【本件に関するお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 田澤

TEL:03-6406-6606 FAX:03-6406-9306 E-mail:koho@mori.co.jp

2015年5月7日

トヨタ自動車、「TOYOTA i-ROAD」の実用化に向け、 企業・生活者と共同で取り組む新たな施策にトライ

トヨタ自動車(株)(以下、トヨタ)は、パーソナルモビリティ「TOYOTA i-ROAD」*1(以下、「i-ROAD」)の本格的な実用化に向け、駐車・充電時の利便性の向上や「i-ROAD」の魅力を高めるパーツのカスタマイズ等において、特有の知見や技術を持つ企業および一般の生活者と共同で取り組む新たな施策を7月より約1年間東京都内で実施する。

具体的には、「i-ROAD」の特長であるバイクに近いコンパクトなボディサイズを活かして、スペース時間貸しを営む企業や都心にある商業施設を運営する企業とともに、狭小スペースや空きスペースの発掘を行い、「i-ROAD」専用の駐車スポットとして運用する。また、一般家庭用100Vでも普通充電できる特長を活かして、同駐車スポットで利用できる電源供給コンセント口の発掘を併せて行い、その一部を充電可能な場所として運用する。

さらに、パーツのカスタマイズでは、パーソナルモビリティとしてより自分らしい「i-ROAD」を楽しめるように、3Dプリンターを活用して利用者がボディパーツの一部を好みの色や表面加工等を実施したパーツに交換可能とする。

今回、その試行においては、「i-ROAD」を10台使用し、一般の方ほか、有識者・クリエイターなどを対象とする総勢100名にそれぞれ1ヵ月程度貸し出し評価をいただく。加えて、駐車・充電時の利便性に関しては、実際にご使用いただいた方から追加・変更等のご提案をお受けするほか、各企業からもネットワークの拡充等につきご意見をいただくなど共同で充実させていく。

パーツのカスタマイズ等についても、同様のプロセスで企画開発を推進していくことから、今後、本施策を「OPEN ROAD PROJECT」と称して、新たな企業の参画も促す。

現在、上記以外の取り組みについても様々な企業とともに商品性向上に資する検討を進めており、期間中に順次追加する。

なお、モニターの応募受付は、本日より特設ウェブサイト：「OPEN ROAD PROJECT」(<http://www.openroad-project.com/>)にて開始し、「i-ROAD」の日常的な利用ニーズ等を確認の上、順次選考する。

トヨタは本施策を通じて、新ジャンルの都市型モビリティ「i-ROAD」の特長を最大限活かせる、様々な商品・サービスを開発し、新たなモビリティ社会の実現に向けて取り組んでいく。

1. 駐車スポット

<狭小スペースの活用例（充電可）>



<空きスペースの活用例（充電可）>



2. パーツのカスタマイズ

<パーツ交換可能な部位>



<色や凹凸の模様などの例>



*1 コンパクトなボディサイズによるバイク並みの使い勝手とクルマに近い快適性・安定性を両立させるとともに、新しい乗り味による楽しさを提供する3輪タイプの超小型電気自動車（EV）

以 上